

第1回いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会会議録

- 1 会議の名称 第1回いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会
- 2 開催日時 令和3年8月31日(火)午前10時～午前11時30分
- 3 開催場所 水戸市役所4階 中会議室1
- 4 出席した者の氏名
別紙「出席者名簿」のとおり
- 5 議事
 - (1)連携中枢都市圏構想の概要について
 - (2)いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン(素案)について
 - (3)その他
- 6 会議資料の名称
 - 資料1 いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会委員名簿
 - 資料2 いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会要項
 - 資料3 連携中枢都市圏構想の概要について
 - 資料4 いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン(素案)について
 - 資料5 いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン(素案)に係る意見・提案書
- 7 発言の内容
 - 【執行機関】 本日は初めての会合となるため、県央地域首長懇話会の座長であります、高橋靖水戸市長より御挨拶申し上げます。
 - 【水戸市長】 県央地域首長懇話会の座長を務めております水戸市長の高橋です。皆様方にはお忙しいところ、第1回いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会に御出席いただき感謝申し上げます。

これまで、県央地域首長懇話会は、広域施設の広域連携・共同利用など様々な施策に取り組むとともに、委員の皆様方にも御協力いただきながら、定住自立圏構想の取組を進めてきたところであります。

一方、地方創生の取組についても、それぞれの自治体がまち・ひと・しごと創生総合戦略、あるいは人口ビジョンを策定し、地方の人口減少の抑制、東京の一極集中の是正を目的に様々な交付金を活用し、6年間各種取組を実

施してきたところです。

そして、6年経った中で、はたして地方の人口減少が抑制されたのか、さらには東京の一極集中が是正されたのかという点、明確な数字が導きだされていない状況であり人口減少を食い止めるだけの政策をなかなか実行できなかったのではないかと反省を込めて思っているところです。

また、もう一つの東京の一極集中の是正に関しては、コロナ禍でテレワークが推進され地方への移住も脚光を浴びていますが、人口1,200万人の東京からごっそり地方へ移住していることではないため、多少話題になっている程度かと思っています。また、オリンピック・パラリンピックが終わると東京の色々な再開発が始まってくるのではないかと、本当に東京への一極集中が是正されるのかがわからない状況であります。

そういった中で私たちは、行政として、まずは自分のところの医療や福祉、教育や子育てといった社会インフラなどの経済圏・文化圏、いわゆる足元の基盤を固め、それにより、東京のマーケットや世界のネットワークなど、外へ向けて築きあげていくということが必要ではないかと思っています。そして、そういった基盤固めのために9自治体がしっかり連携していかなければならないと思っています。

水戸市が昨年中核市になったことを契機として、これまでの定住自立圏構想から連携中枢都市圏構想に格上げができることとなり、現在、9自治体の各首長に集まっていたいただき協議を続けまして、これからは定住自立圏から連携中枢都市圏の取組を進めていくという合意に至ったわけでありまして。そこで、定住自立圏共生ビジョンの計画期間が本年度で終了となることから、令和4年度からの連携中枢都市圏の事業実施に向け、具体的な内容を盛り込んだ都市圏ビジョン（素案）を作成いたしました。

県央地域の発展のために、皆様方にお力添えをいただきながら、連携中枢都市圏の取組を推進していきたいと思っておりますので、忌憚ない御意見・御提言をいただきながら、皆様方と共同で良いビジョンを作りあげ、そして、県央地域の発展、皆様方の安心安全につなげていきたいと思っておりますので、御協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。座長としての挨拶とさせていただきます。

【執行機関】 次に、本日御出席の委員の皆様方を資料1の委員名簿順に御紹介いたします。

(委員紹介)

【執行機関】 以上、18名の委員の皆様を御紹介いたしましたが、本日所用のため、2名の委員が欠席となっております。

次に、事務局を紹介いたします。

(事務局紹介)

【執行機関】 ここで、次第4「座長、副座長選出」の前に都市圏ビジョン懇談会の要項について、事務局より御説明申し上げます。

(事務局 資料2「いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会要項」について説明)

【執行機関】 ただいまの要項の説明につきまして、御質問等がある場合は挙手願います。

(意見・質問等なし)

【執行機関】 それでは、次第4「座長、副座長選出」に移ります。

懇談会要項第5条第2項の規定では、ビジョン懇談会に座長と副座長を置くことになっています。事務局案としては、座長を___の___委員に、副座長を___の___委員をお願いしたいと思っています。

御賛同していただける場合は、挙手願います。

(全員、賛同の挙手)

【執行機関】 委員の皆様にご了承をいただいたので、座長は___委員、副座長は___委員に決定させていただきたいと思っております。

ここで、座長、副座長から一言御挨拶を頂戴したいと思います。

はじめに、___座長、よろしくお願いいたします。

【座長】 ただいま座長に選出されました___の___です。皆様には御協力を賜りまして議事を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【執行機関】 ありがとうございます。続きまして、___副座長お願いいたします。

【副座長】 先ほど副座長に選任されました___の___です。定住自立圏ビジョン懇談会から継続された委員の方も多くいるため、継続性や発展性という意味でよりよい連携中枢都市圏ビジョンの策定につながるのではないかと考えています。副座長ということで座長を補佐してビジョン策定に向けた意見の集約に対して、大変微力ですけれども貢献できればと思っています。

【執行機関】 それでは、次第5「議事」に移ります。懇談会要項第5条第3項の規定に基づきまして、進行を___座長をお願いいたします。

【座 長】 それでは、議事に入らせていただきます。
まず、本懇談会の公開・非公開について、事務局から説明願います。

(事務局 「懇談会の公開・非公開について」説明)

【座 長】 ただいまの説明について、御質問がございましたらお願いいたします。

(意見・質問等なし)

【座 長】 それでは、懇談会については非公開で進めさせていただきます。
次に、議事に移ります。本日の議事の進め方については、議事1「連携中
枢都市圏構想の概要」全部と議事2いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョ
ン素案のうち、第1章から第3章までの総論の部分について、主に御意見を
いただきたいと思います。残りの素案の第4章2「具体的な取組」と第5章
「進行管理」については、本日は主に説明のみにとどめ、第2回の懇談会で
御意見をいただきたいと考えております。

(事務局 「資料3 連携中都市圏構想の概要について」 資料説明)

【座 長】 ただいま事務局から「連携中枢都市圏構想の概要について」の説明があり
ました。これについて、御質問・御意見等がございましたら、挙手願います。
発言に当たっては、名前を名乗ったうえで御発言願います。

(意見・質問等なし)

【座 長】 特に御意見がないようですので、次の議事に移ります。議事の二つ目、い
ばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン素案の第1章から第3章まで、事務
局説明願います。

(事務局「資料4 連携中枢都市圏ビジョン素案(第1～4章1)」説明)

【座 長】 ただいま事務局から、資料4の第1章から第4章1までの説明がありまし
た。本日はここまでについて主に御意見をいただきます。御意見等がござい
ましたら挙手願います。

【___委員】 ビジョンに記載の取組については、何年間の計画を想定しているのか。

【執行機関】 本ビジョンの計画期間は令和4年～令和8年度までの5年間の期間として

います。ただし、事業については継続的な取組が必要となるものもあることから、本ビジョンの中で検討され大きく膨らんだものについては、それ以降も継続して実施していくといった視点を持ちながら事業を進めていきたいと考えています。

【___委員】 ビジョン P17 からの産業の状況について、第一次産業、第二次産業、第三次産業の就業者数、事業所数や販売額及び付加価値額をみると、傾向として、全ての産業において就業者数及び事業所数が減少しているが、第二次産業及び第三次産業については生産額や販売額が増えてきており、生産性が増加している。なぜ、第二次産業と第三次産業の生産性が増えているのかわかればお教えいただきたい。

【執行機関】 直接的な原因については、なかなか申し上げづらいところであるが、これまでの各市町村との連携も含めて、それぞれの市町村の取組、そして連携での取組の結果が少しでもこちらの増加に反映されているのではないかと考えています。

【___委員】 個別事業者の努力も前提にあると思うが、都市圏ビジョンを策定する際に、現状を踏まえて施策に生かされていければいいと思い質問させていただいた。

【___委員】 人口動態について、日本の社会は間違いなく人口減少を迎えている中で、ビジョンには海外からの移住や観光客の入込が触れられていないが、日本全体として海外からのそういった人材というのは産業の活性化に非常に必要だと思う。産業振興や観光の事業等について、もう少し海外からの流入を念頭においたほうが良いと思うがいかがか。

【執行機関】 水戸市においては、この将来都市像について、「世界」という言葉を使用しています。___委員からの指摘を受け、移住定住として国内に限らず世界という視点も踏まえ、データとして取り得るところや施策の中で議論できるように検討します。

【座 長】 連携中枢都市圏ビジョンは、定住自立圏共生ビジョンから産業振興等が加わるなど範囲が拡張したと思うが、範囲の広がりだけでなく定住自立圏共生ビジョンの取組や評価等から改善点や問題点を評価し、連携中枢都市圏にどう取り入れ、どのように変わったのかということをお伺いしたい。

【執行機関】 定住自立圏と連携中枢都市圏については、大きな目的としては圏域全体の発展、そして発展によって人を呼び込む、東京へ一極集中をさせないという部分で目的は大きく変わらないと考えています。一方で、範囲の広がりだけでなくということですが、やはり1つの大きな部分として、都市機能の向上や地域経済の活性化というような新たな取組ができる場所であると考えています。定住自立圏の評価については、その効果について一定の評価を行い、それまでの取組を集約化するなど見直しを行いながら連携中枢都市圏におい

でも取組んでいくこととしました。また、新たな取組を首長同士で検討し、大きな視点を持つことが大事であるという意見もいただいたところであり、今回のビジョンの中で定住自立圏からの継続のものとともに、今後検討していく部分として ICT や大学との連携など、未だ検討段階にある施策等についても、長期的に見て大きく花開かせるような取組の第一段階になるものも含んでおります。

【座長】 定住自立圏については生活環境の充実が主なものであり、それが産業面や都市機能という形に広がっていく。個人的な見解だと広域的な総合計画に近づいてきたのかなと、そういった印象を持っているところで非常に興味深いと思っています。

皆さん、いかがでしょう。他に御意見・御質問等ありますか。

他に御意見等がないため、次の議事に移ります。

ビジョン第4章2以降及び第5章について、事務局説明願います。

(事務局「資料4 連携中枢都市圏ビジョン素案(第4章2～5章)」説明)

【座長】 これに関しての本格的な検討は第2回懇談会で行いますが、確認したい事項などがありましたら挙手願います。

【委員】 P60のICTによるまちづくり推進事業について、社会実験などの実証実験をするには5Gの可能な域を水戸市内、中心街に作るとか、あるいはwifi環境をさらに進め、どこでもwifiにつながるなど、どのくらい通信インフラを整備することで生活が便利になるかということを実証しながら進めたほうが良いと思うが、そのあたりの計画はこの中には盛り込めないか。

【執行機関】 通信インフラの整備について詳しく盛り込めないのかということについては、これから立ち上げるICTに係る協議会において検討を進めていくため、いただいた御意見については、担当課に伝え、検討いたします。

【委員】 KPIについて、様々な事業があるがKPIと個別事業との関連性がわかりにくい。KPIと事業が一对一で対応しているものと、例えば、事業者の経営力強化事業のように総生産のところに繋がっているのか、あるいは事業所の従事者数のところに繋がっているのかというものもあり、わかりにくい。

もう一点、目指すべき将来像について、委員も先ほどおっしゃっていたが、目指すべき将来像が「世界につながるいばらきど真ん中」ということで、国際性など関係させたいというのはあると思うが、事業の概要だけみるとつながりがわかりにくい。国際的な関わりがみえるようにもう少しコンセプト等にあわせた事業の説明のあり方を工夫したほうが良い。

【執行機関】 一つ目のKPIと事業との関連性については、KPIはできるだけ上位の指標を

盛り込んだことから、関係性が見えづらいという御指摘だと思います。こちらについては、別途資料を送付させていただきたいと思います。

二つ目の質問の世界につながる将来像の文章が特定の事業とどのように結びついているのかということですが、こちらについては、茨城空港や茨城港など、世界につながるインフラがあるため、ビジョンに事業はあまり掲載されていませんが、将来的には事業を実施していくということも念頭にいれながら進めたいと考え、盛り込みました。見せ方については、検討します。

【委員】 KPIについて、事業No.5にあたるKPIの指標は、観光交流人口（観光入込客数）だと思います。入込客数は重要な数値ではあるが、事業No.5に観光消費促進と載っているの観光消費額をKPIとして盛り込むのも良いと思うかがか。

【執行機関】 観光消費額については、一度事務局でも検討したところであるが、観光消費額については、茨城県が出している指標となることから、県全体の単価になってしまうというふうに伺っています。連携中枢都市圏は圏域の取組のため、圏域としてそういった指標を導き出せるかどうか、担当課と調整させていただきたいと思います。

【座長】 P52 総生産のKPIについて、これはいわゆる付加価値ベースで算出していると思うが、生産額の数値だけで見るとこの目標値がどのくらいの目標というのが捉えにくい。例えば、年率何パーセントの増加など、成長率で記載をすると国全体の成長率に対して、県央地域の成長率はどのくらいで設定しているなど、具体的にイメージが沸くと思うため、年率何パーセントの増加というようなものを記載していただきたい。（意見のみ）

特にほかに御意見等ないようですので、次の議事に移ります。

次の議事3その他について事務局から御説明願います。

（議事3 「今後の会議の日程等について」説明）

【座長】 ただいま、次回の日程と今後の進め方についての説明がありました。次回の日程及び今後の進め方について、御意見がある場合は挙手願います。

（意見・質問等なし）

【座長】 御意見等がないため、本日の議事は以上で終了いたします。会議の運営に御協力いただきありがとうございます。以上で第1回いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を終了いたします。お疲れ様でした。

—以上—